

第27号
平成7月10日発行

瑞山会会報

編集発行 名古屋市立大学経済学部同窓会・瑞山会編集部
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1(名古屋市立大学経済学部内)

平成8年度 通常総会兼代議員会開催



（奥）左側から「前田会長」・「物故者黙祷」・「議長・書記の選出」・「議事」・「審議」・「議案」・「表彰規定」・「名簿有料化」・「新役員選出」・「賛成多数により承認」

平成8年10月25日(金)午後6時30分より、名鉄ニューグランドホテルにおいて、平成8年度瑞山会通常総会・懇親会が開催されました。

前田会長の挨拶、物故者黙祷の後、議長・書記の選出が行われ議事が審議されました。議題は、平成7年度経過報告・会計報告、平成8年度事業計画案・予算案、支部規定、表彰規定などの会則の改正について、名簿有料化の報告、新役員選出などでいずれも賛成多数により承認されました。

総会の後は、青山光子医学部同窓会会長、水野民也薬学部同窓会長などご来賓の方々や、経済学部の先生方も出席されての懇親パーティーが催され、会場は終始和やかな雰囲気になりました。



●平成7年度決算報告

第18期貸借対照表 (平成8年3月31日現在)
(単位 円)

借方	金額	貸方	金額
普通預金・現金	3,538,253	未払金	1,969,578
郵便振替口座	10,000	運営基金積立金	11,802,708
割引金融債権	1,898,180	(うち当該剰余金)	(869,101)
貸付信託	6,560,000		
金銭信託	1,765,853		
合計	13,772,286	合計	13,772,286

第18期収支決算表
(自平成7年4月1日至平成8年3月31日)
(収入の部) (単位 円)

勘定科目	予算額	実績額
会費収入		
新入会費	4,400,000	4,380,000
その他	0	10,000
各部預金利息	5,000	3,281
運営基金利息	195,000	169,285
運営基金戻入	500,000	0
その他	0	128,534
収入計	5,100,000	4,691,100

(支出の部) (単位 円)

勘定科目	予算額	実績額
名簿追録発行費	600,000	556,200
会報発行費	1,600,000	2,025,565
総会費	400,000	62,641
事務費	500,000	331,859
通信費	100,000	99,107
事業運営費	900,000	746,627
名簿発行引当金	800,000	0
予備費	200,000	0
支出計	5,100,000	3,821,999
当期剰余金	0	869,101
合計	5,100,000	4,691,100

●1996年度役員名簿

●理事

会長

前田 勝昭 1期生(岡崎)

副会長

近藤 常夫 1期生(平田)

多和田 眞 4期生(岡崎)

佐藤 克己 8期生(岡崎)

庶務部長

八木 得三 5期生(山本)

副庶務部長

伊藤 孝 6期生(山本)

庶務部

渡辺 尚泰 3期生(柴田)

杉本 仁 8期生(岡崎)

小笠原 幸生 6期生(中居)

荒深 美和子 9期生(木村)

倉地 弘美 14期生(松永)

木村 剛 17期生(辻)

坂野 之信 21期生(牛嶋)

松坂 美枝子 27期生(根津)

編集部長

榊原 茂 1期生(松永)

副編集部長

服部 篤典 18期生(安藤)

編集部

手塚 祥郎 1期生(牛嶋)

前田 進 4期生(松永)

伊藤 幸雄 5期生(妙見)

鈴木 正彦 7期生(芝原)

田中 喜雄 7期生(岡崎)

寺沢 賢治 11期生(牛嶋)

水野 誠 13期生(宮川)

松川 倫典 16期生(塩見)

湯浅 伸庸 18期生(安藤)

中村 英利 20期生(西田)

石川 勇治 21期生(上村)

森本 浩二 21期生(中居)

柴田 光晴 22期生(神山)

家田 嘉人 26期生(星野)

高山 浩之 26期生(國村)

西 理恵 26期生(國村)

事業部長

逸見 和弘 1期生(松永)

副事業部長

杉浦 晴義 5期生(松永)

事業部

都島 忠比古 3期生(山本)

浅岡 邦康 3期生(傍島)

木村 新作 5期生(岩橋)

伊藤 政明 5期生(柴田)

加藤 実 6期生(宮川)

岡田 美津雄 10期生(中居)

村岡 範久 15期生(松井)

畔柳 一 19期生(星野)

赤羽 廣一 21期生(妙見)

石川 常彦 23期生(國村)

名簿部長

中村 正治 5期生(木村)

副名簿部長

児島 完二 22期生(妙見)

橋本 光生 18期生(醍醐)

会計部長

坂野 修 2期生(山本)

副会計部長

児島 和世 22期生(國村)

●監事

栗野 泰次 1期生(大山)

松原 隆二 4期生(中居)

卒業式・入学式

●平成8年度の卒業式は、3月25日(火)・名古屋市公会堂にて行われました。経済学部では第30期生として214名が学び舎を後にしました。

引き続き東急ホテル4階雅の間にて謝恩会が開催され、出席240名余りが見守る中、前田瑞山会長より成績優秀者5名への瑞山会賞の表彰がなされました。

平成9年度の入学式は、4月4日(金)・白鳥センチュリーホールにて行われ総員624名、経済学部212名が入学しました。



8年度 屋市立大学経済学部 謝恩



●瑞山会賞受賞者は以下の方々です(アイウエオ順)
● 杉田明子さん 竹森真也さん 福田久美子さん 室屋秀次さん 山田真規子さん

学部人事異動

●3月31日退職

- ・教授(附属経済研究所) 福地 崇生
- ・教授(附属経済研究所) 小坂 弘行
- ・助手(経済理論) 三井 栄
- ・助手(経済政策Ⅱ) 後藤 尚久
- ・助手(経済政策Ⅱ) 中山 健一郎

●4月1日採用

- ・教授(経済政策Ⅱ) 森 徹
- ・教授(附属経済研究所) 信國 真哉
- ・助手(経済理論) 松葉 敬文
- ・助手(経済政策Ⅱ) 橋本 浩幸

●4月1日異動

- ・助教授(経済理論) 安部 由紀子・講師より
- ・助手(経済政策Ⅰ) 徳光 由佳里・経営会計学より
- ・助手(経済政策Ⅰ) 佐藤 雅代・経済政策Ⅱより

中国社会科学院・日本研究所と経済学部との学術交流について

中国社会科学院は、今日、31の研究所と45の研究センター、大学院、文献センター、出版局、博物館などの付置施設を持つ中国で最高の哲学・社会科学系の総合学術機関です。基礎研究と応用研究を行う総勢約4000名の大規模な研究者集団を擁しています。

さて今秋より、この中国社会科学院の日本研究所と経済学部の日中学術交流事業がスタートする運びとなりました。よろこびと若干の誇りをもって会員の皆様にお伝えいたします。実は、昨年の10月、日本研究所のスタッフ5名が経済学部を表彰訪問され、われわれは「日本の戦後経済からみた中国の経済建設の諸問題」について小さなシンポジウムをもったのですが、帰国後、間壁を容れず中国側から学部長宛に書簡が届き、今後長期的な学術交流に発展させようと提案がなされたのです。その第1回目の開催地

●は北京、経済学部では10名以上の派遣団を結成して、合同シンポジウムをふくむ1週間におよぶ交流事業を煮詰めつつあります。
●われわれ経済学部や瑞山会の将来展望を考えると、これからは、少なくとも東アジア地域を視座に置かざるをえないのは、留学生の増加、仕事の国際化のなかで日々痛感させられていることです。この事業のもつ多面的な可能性に注目し、ご提案やご支援をお願いいたします。なおこの連絡先は経済学部の日中学術交流事業準備委員会事務局(TEL・052-872-5728 FAX・052-871-9429)まで。また賛助金は名古屋中山郵便局・同上名義の寄付口座00800-2-28116(郵便振替)でお受けいたします。

文責 経済学部教授 塩見治人

福地崇生教授最終特別講義

- 大国の比較研究 -

平成9年(1997年)3月をもって、本学経済研究所長福地崇生教授が定年退職されました。

福地教授は、平成7年4月に本学経済学部へ赴任、翌年4月に開設された附属経済研究所の初代所長を務められました。

研究意欲旺盛で第一線で活躍されている福地教授の業績は、政策的観点からの計量モデル分析等々枚挙にいとまがありません。また教育者としても、その温厚でユニークな人柄から多くの人々に慕われ、国際基督大学以来多数の学生及び研究者を指導し多方面に輩出しています。

退任に先立ち、1月30日に学内外からの多数の聴衆を前に最終特別講義が行われました。内藤学部長の挨拶、小坂教授の経歴紹介に続き、【大国の比較研究-インドネシア・ブラジル・中国-】と銘打った講義が始まりました。『産業連関多期間計画モデルによるインドネシア経済の分析』『ブラジルの超インフレモデル』『上海・長江-阪神交易促進プロジェクトの経済効果分析』のオムニバスの報告でした。また、学会スタイルをとった希望で、名古屋大学木下教授と中京大学木村教授がコメンテーターとしてたれました。

「モデル化は面白い、economistの仕事はたくさんある」とのModel Buildingのお勧めを最後に講義が終わり、伊東学長及び経済学会からの花束と共に福地教授は名市大の教壇をおられました。その後、学生会館生協食堂ホールで祝賀懇親会が催されました。

なお、福地教授は現在も世界中を駆けめぐり周囲を圧倒するパワーで研究活動を続けておいでです。



附属経済研究所設立

公開シンポジウム開催

平成8年(1996年)11月7日、公開シンポジウムが中区役所ホールで開かれました。平成7年2月の第1回目、同年11月の第2回目に続き通算で3回目となる今回のシンポジウムは、平成8年4月に正式に発足した附属経済研究所を記念しての開催でした。

東海地方・愛知県・名古屋市経済の発展・活性化・福祉の向上を目指した研究をその活動の主眼とする研究所設立を記念するに相応しいテーマとして「日本の未来・未来の名古屋」が掲げられました。パネリストとして名古屋市立大学経済学部附属経済研究所所長の福地崇生氏・大阪大学社会研究所教授の八田達夫氏、ジャーナリストの大宅映子氏、そしてコーディネーターとして中日新聞論説顧問の田村新次氏と壇上に多彩な顔ぶれを迎え、事前に発行されていた参加証を手に会場には多くの聴衆が詰めかけました。

主催者側を代表して内藤学部長の挨拶、多和田教授によるパネリストとコーディネーターの紹介があり、問題提起を受けてのパネルディスカッション形式でシンポジウムが進みました。

図表を多く用いた資料をもとに日本経済ならびに地元経済に関する基調講演が福地教授よりなされ、田村氏の議事進行でパネリストが活発に意見を交わしました。大学時代のゼミ生(八田氏・大宅氏)と指導教官(福地氏)という関係もあり、白熱した中にもどこか和やかな雰囲気を感じられる討論に、会場も沸きました。

関係各位のご配慮ご協力により開催されたシンポジウムは、期待に違わず実り多い討論が展開され盛況のうちに惜しまれつつ幕を閉じました。



●平成9年3月卒業学生の就職状況一覽●

建設業 11 (4)	サンゲツ 1 (1) M C M 1 (0) 西垣林業 1 (1) 松栄商事 1 (0) 紅中 1 (1) 中日輪船商事 1 (1) 大宇ジャパン 1 (0)	その他 5 (5)	日本ユーレック・パーク1 (1) スベース1 (1) 名古屋情報システム1 (0) ビジネスブレイン太郎1 (1) 愛知県議会士事務所1 (1) 寺沢建設事務所1 (1) 伊藤会計事務所1 (1) 金屋会計事務所1 (1) 三友建設士事務所1 (1) 小野正則建設士事務所1 (1)
竹中工務店 1 (0) 前田建設工業 1 (0) 三井建設 1 (0) 矢作建設工業 1 (1) 名工建設 1 (0) 大井ハウス工業 2 (0) 積水ハウス 1 (1) クボタハウス 1 (0) ユニホー 1 (1) 一条工務店 1 (1)	小売業 2 (1)	運輸 5 (3)	公務 19 (11)
製造業 21 (4)	ジャスコ 1 (1) ヤササキ 1 (0)	東海旅客鉄道 1 (1) 日本通運 2 (0) 濃飛倉庫運輸 1 (1) 東山 1 (1)	国家事務 5 (4)
出版印刷業 1 (0)	金融保険業 48 (15)	通信 12 (3)	厚生省 3 (3) 大蔵省 1 (1) 防衛庁 1 (0)
中日新聞 1 (0)	銀行・信託業 24 (1)	NTT日本電信電話 9 (2) 日本移動通信 2 (1) アステル中部 1 (0)	地方事務 14 (7)
化学工業 2 (1)	第一勧業銀行 1 (0) 三和銀行 1 (0) あさひ銀行 1 (0) 東海銀行 4 (0) 十六銀行 1 (0) 大垣共立銀行 3 (0) 愛知銀行 1 (0) 名古屋銀行 3 (0) 中京銀行 3 (0) 第三銀行 1 (0) 碧南信用金庫 1 (0) 中日信用金庫 1 (0) 豊田信用金庫 1 (0) 清洲信用金庫 1 (0) 東濃信用金庫 1 (1)	電気・ガス・水道 2 (1) 中部電力 2 (1) 非営利団体 9 (2)	岐阜県庁 2 (1) 香川県庁 1 (0) 名古屋市役所 7 (3) 岐阜市役所 1 (1) 江南市役所 1 (1) 稲沢市役所 1 (1) 刈谷市役所 1 (0)
豊田合成 1 (0) ノエビア 1 (1)	証券・商品取引 11 (5)	国民金融公庫 1 (0) 全国信用金庫連合会 1 (0) 愛知県信用保証協会 1 (0) 愛知県厚生農業協同組合連合会 1 (1) 名古屋商工会議所 1 (0) 中部自転車競技会 1 (0) なごや福祉協議会 1 (0) 名古屋交通開発機構 1 (0) 名古屋港管理組合 1 (1)	備考
電機機械器具 6 (1)	大和証券 2 (0) 日興証券 1 (1) 東洋証券 1 (1) 東海丸万証券 3 (2) 豊商事 1 (0) チュウオウ 1 (0) 日栄 1 (0) 7&7フィックス 1 (1)	サービス業 29 (22)	(注) Ⅰ()内数字は、女子の内数を示す。 Ⅱ本表は、進路届・就職内定届に基づき自己申告により作成した。 Ⅲ従って、進路希望調査時に於いて自営・進学・留学・帰国・国家試験等に分類した。
NEC日本電気 1 (0) 三菱電機 1 (1) 三菱洋電機 1 (0) マキタ 1 (0) メルコス 1 (0) キーエンス 1 (0)	保険 8 (4)	教育 4 (2)	自営 1(0) 大学院進学 8(3) 海外留学 2(0) 帰国 1(0) 国家試験等受験準備の為就職せず 24(9) その他 1(1)
食料品・たばこ 1 (0)	東京海上火災保険 2 (2) 住友海上火災保険 1 (0) 安田火災海上保険 1 (1) 日本生命 1 (0) 第一生命 1 (1) 明治生命 1 (0) 安田生命 1 (0)	学校法人立命館 1 (0) 学校法人三暁学園 1 (0) 河合塾 1 (1) エフコ・ボレーション 1 (1)	平成10年卒業予定者数 男子 134名 女子 63名 計 197名
雷印乳業 1 (0)	精密機械器具 1 (0)	医療保健 1 (1)	
繊維工業 2 (0)	富士機械製造 1 (0)	名古屋第一赤十字病院 1 (1)	
豊田紡績 1 (0) 増 1 (0)	その他 4 (0)	その他 24 (19)	
輸送用機械器具 4 (2)	YKK古川工業 1 (0) 日本特殊陶業 1 (0) 大王製紙 1 (0) スミエイト 1 (0)	アラド・コーポレーション 1 (1) 日通旅行 1 (1) セントラル・システムズ 1 (1) 東洋パッキングソフウェア 1 (1) トージス 1 (1) 東海テクシス 1 (1) 電算システム 1 (0) 中部日立ビジネスセンター 1 (0) IBM東海情報ソリューション 1 (0) 三協コンピュータサービス 1 (1) ダイコク電機 1 (1) 富士通中部システムズ 1 (0) 大和情報システム 1 (1) 豊田ハイシステム 1 (1)	
トヨタ車体 1 (1) 7インイダリュウ 1 (0) 大同メタル 1 (1) 五十鈴製作所 1 (0)	卸売・小売業 13 (7)		
精密機械器具 1 (0)	卸売業 11 (6)		
富士機械製造 1 (0)	ユアサ商事 1 (0) 日商岩井建材 1 (0) 豊田通商 2 (2)		

新しい時代を創る人と人をつなぐ

NEO CAREER NETWORK...VOL. 2

ネオ・キャリアネットワーク

●編集スタッフ 湯浅伸庸 (18期)

清水綾子 (30期)

清水 [○] この企画は、昨年に続きまして2回目となります。「様々なキャリアで、社会で活躍されるOBの、「人と仕事」をご紹介することで、OB同士や学生をネットしていこう」というのが目的です。今回は、この企画らしい、紹介による取材が実現しました。

岡井 [■] 今回の取材は、ブラザー工業で人事部長をされている天野晴元さん [2期生] から頼まれましたので、断れなかったですね [笑]。天野さんとは、同じ松永ゼミの1年先輩、後輩の間柄です。2期生の方は、結構勉強ができたので、僕たちが、全国のゼミナール大会への参加を決めた時、何とか先輩優等生をかついで、九州に行きましたよ。松永先生には、大変にお世話になりました。このたびは、心よりご冥福をお祈り致します。

○まず、卒業から今日までの経歴をお聞かせください。

■昭和45年 [1970年]、大阪万国博覧会の年に大学を卒業し、パロマに入社しました。現在まで、同じ会社に、27年間も在籍しています [笑]。

○なぜ、就職先にメーカーを選ばれたのですか？

■1970年は、日本という国を動かす基

礎が、東京希望は、僕一人でした。70年前後は、学生運動が真っ盛りですが、ノンポリだった僕も、何とか時代についていきたいという思いが強かった。東京への期待も、その現れだと思えます。

今、思い返すと、あの当時の僕は、常に、自分に足りないものへの「あこがれ」で行動していたように思います。僕は、知多半島の半田の生まれで、高校までが半田、大学も名古屋で、ずっと愛知県内。田舎者のコンプレックスかもしれませんが、「何か足りないな」と感じていました。東京での4年間は、見本市から競馬場まで、名古屋にはないスケールで、大都市の良い面、悪い面を見ながら生活ができました。名古屋に戻ってからは、営業を8年半ほど担当しましたが、市場が小さいと感じた。東京体験があったから、相対的にとらえることができた

○「工業用・業務用品開発室・室長」というのは、どんなお仕事なんですか？

■パロマの事業領域は、「ガスというエネルギーを有効かつ安全に活用するための機器やプラントの製造・販売」です。ガス湯沸かし器、ガス炊飯器、ガス・テーブルなどの家庭用品を、燃料会社やガス会社、住宅設備を扱う商社、工務

店、量販店など、様々な顧客に営業をしています。現在までの13年間は、家庭用品以外の、業務用、工業用のガス製品を扱う、パロマの売上シェアの7%、社史の中でも比較的新しい分野をマネジメントしています。市場調査から、商品開発、営業・販売促進企画、カタログの原案作成、アフターサポートまで、製品軸で、川上から川下までやって

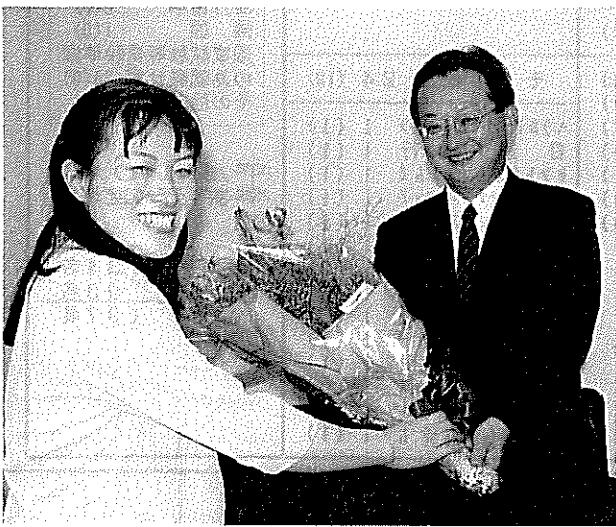
ます。業務用品は、飲食関係の厨房機器、例えば、大手のハンバーガーショップのフライドポテトを揚げるフライヤーなどでは、パロマのシェアは高いですよ。また施設園芸で使われる暖房プラントや、北国の道路の融雪プラントや、工場施設の給湯や床暖房。これらは、地方自治体や地域のガス会社とのタイアップで進める、大規模で、長期的な事業です。地域の住民を最終顧客と考えると、多くの人に影響を与える公共性の高い事業です。こういう大きな仕事は、後々まで残りますから、受注した時の喜びは大きいですね。

○大変に、面白そうな仕事ですね。

■面白いですよ。大変ですけどね。顧客ニーズをつかんでいる営業と、製品・技術のアイデアを持っている技術をコーディネートして、出てきた製品のバリューを検証するんです。誰が、どこで買うの？ 誰が、どう喜ぶの？ ってね。一つ一つの規格をつめていくわけですよ。作った商品のバリューは、全国の営業マンの業績に影響します。面白い仕事ですが、それと同じくらいつらいですね。ヒット商品もあれば、ハズレもありますから。本当に、覚悟してやっています。○どんなことを大切に、こうした仕事を進めていらっしゃるんですか？

■3つありますね。第一に、自然体でやる、力まないことです。真剣になると、こんをつめていきますね。これは体に悪いし、そもそも仕事になりません。作る側の視点で、考え込んだり、作り込んだりしても、お客様に受け入れられる商品には結びつかないことが多いから。ふらっと、自然体で、自分の好奇心の赴くままに、現地で生活する人の声を聞きに行く。何について？ どう困っているのか？ どうしたらいいのか？ ってね。そうすると、見えてくるものがあるんです。そして、大切なことの第二は、入口を間違えないこと。他の人の報告や分析を見ているだけだと、耳年増になって、自分の論理にとらわれて、本来の姿を見誤ってしまう。現在でも、10日に2日は東京出張ですが、出張と生活の違いは感じます。そこに生活しなければ、顧客の本当の感覚はつかめませんね。出張先でも、「そこに生活する人の声」を、しっかりと聞かなければ、開発の仕事はできないと、メンバーにも自分にも圧力をかけているんです。現場の声。特にお客様や、お客様のお客様である最終顧客の日常的な思い。これが大切な「入口」なんです。

○「何のための商品なのか」という目的＝入口をズラさないことが、大切だと？





■そうです。ズレていると、その後のプロセスの善し悪しに関わらず、時間や労力を投入しても、出てきた製品にはバリューがないですから。で、第三は、仕事というのは「基本動作の連続」であるということ、常に大切にすることです。

○製品開発という、どちらかというと創造的で、ハレの印象を持つ仕事で、「基本動作の連続が大切」というのは、多少違和感もあるんですけど？

■なるほど、でも、僕には、そうは思えない。社内で、新製品のアイデアを募集すると、感性に任せた提案が、たくさん出てきます。しかし、いくつ売れるの？

と聞くと、大方は、答えられない。企業での仕事というのは、限られた時間と資源を活用して、期限までに、製品を開発し納品することですから。基本動作の連続ができなければ、とてもじゃないですが、多様なニーズと、多様なアイデアを重ねて、タイムテーブルに沿って、売れるであろう製品をカタチにし続けることなど、実現できないものです。

○「創造」それ自体を仕事にするのと、「創造をマネジメントすること」を仕事にするのと

は、大きな違いがあるということですね。実は、パロマと言いますと、ガスを扱うということで、安全性重視で、良い意味で保守的なイメージがあります。絶対に失敗は、許されないみたいな。だから、そんな中



で、製品開発の創造性って、どうなんだろうと思ってました。

■パロマは、世界的に見ても、様々な安全装置の開発に早くから取り組み、高い安全性を確立するための多くの特許技術を持って、他社にも技術供与しているんです。目立たないんですが、そこが、基本的な強みです。パロマ・ベーシック [=人に優しく、安全な設計] というこの信頼性のベースの上に、創造性の発揮があるわけです。ですから、新しいことへの挑戦と、安全性との間で葛藤が起こることはありません。電気でもガスでも同じじゃないですか？ ね、清水さん。

○はい [笑]。

○今後の抱負やビジョンをお話ください。

■これからは、自分自身が、新しい仕事に挑戦するだけでなく、それ以上に、これまでの仕事を通じて自分の中に蓄積できた財産を、次の世代の人に引き継いでいくことを、大切にしたいと考えています。伝えにくい創造的な要素も、うまく若い人にバトンタッチしていきたいですね。

○名市大のOB、在学生、6000人のネットワークに期待したいことはありますか？

■知人というレベルではなく、友人の集まりにしたいですね。知人は、ただ、知っているとか、利害があるからとか、たまたま機会が同じで、つきあっているという感じです。利害や機会がなくなれば、関係は消えてしまうでしょ。一方で、絶えず連絡はしていなくても、困った時に、気軽に相談できる関係というのが、僕の求める友人関係です。理想かもしれませんが、そういう、人間としてのホットなところがないと、寂しくていけません。実は、名市大時代の同級生で「五賢会」というのを

作って、27年間も交流を続けているんです。教養部時代のアイウエオ順の近い、気の合う遊び仲間の集まりで、今は、奥さん、子供と同伴で、食事会をやっています。最近、僕たちは賢人でもなし、健康に関心が移っ

ていきますので、「五健会」に会名変更しようかと話し合ってます [笑]。

○27年間は、すごいですね。私も、今年、卒業でしたのですが、長く続けられるような友人関係を大切にしたいと思います。現在の、名市大生に、アドバイスはありますか？

■名市大の学生は、おしなべて、おとなしいんですよ。今の企業では、自分でリスクを抱えて、決めて、やり抜く力強さを持つような人材が求められます。会社の仕事には、自分で決めてやる仕事と、やらされてやる仕事と2種類あるわけだけど、やらされ仕事は、入口を決めてないものだから、出てくるアウトプットもバリューがない。名市大の学生の「おとなしい」というイメージは、これから不利に働くんじゃないかな。僕自身、この歳になって、特に「不言実行」なんて捨てました。やらなければ、やらないで済みますからね。言い出しっぺが、失敗して、痛い思いをして、やりきることこそ大事です。今、僕は、自分自身を縛るために、自分でやりたいと思ったら「これやります」と自己申告するようにしています。

○もう、岡井さんが、事業において、主要な決断をすることを期待されているわけですね。

■今の仕事は、意思決定でモタモタしたら、商機を失います。会社の方針が決定したら、多くの関連部署や顧客との間で、情報交流や調整は、頻繁に行います。自分の信じた目的に向けて、入口を決め、リスクを負いながら、自分で主体的に、覚悟して、決断するしかないんです。それにしても、こうして振り返ると、つくづく、本当にいい仕事だから、苦しくても周囲の人に支えられて、27年間も続けてこれたんだと思いますね。

○2時間にもわたって、貴重なお時間をいただき、素晴らしいお話を伺うことができました。本当に、ありがとうございます。

[1997年6月3日 パロマ・応接室にて取材]

株式会社パロマ 工業用・業務用品開発室 室長

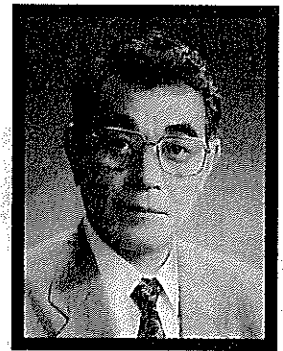
岡井 隆さん [第3期生]

恩師松永先生を悼む

1期生 逸見和弘

1月3日、日曜日の朝、突然の訃報に仰天する。松永先生が逝くなられたのだ。夏頃から大分悪いようだ、とか衰弱しているようだとか、また10月に入院されたときには、相当悪いようだから、もう少し容態が良くなってからお見舞いに行ったほうが良い、等々、各方面の方々から聞かされてはいましたが、何にでも臆することのない堂々とした先生が、もう逝ってしまうなんて…ショックでした。先生には8月にお会いする機会を失ってしまいましたので、その前の5月が最後のお姿になってしまいました。その頃すでに先生のお身体を病魔が蝕んでいたのでしょうか。しかし、少しやせて見えるものの、あの行動力、人を捕らえて離さない弁舌、瞬時的確な判断力、何等変わることなく、このまま更なる使命を全うして行くものと信じていました。何でも可能にしてしまう先生、将来はどこまで進んでいくのか、人に推されて行政の首長にでもなるのだろうか、と密かな楽しみでした。しかし病が全てを奪ってしまいました。嗚呼、あの松永先生はもう居ないのです。30年以上も前、経済学進級以前の教養課程において、先生の講義は人気がありました。何よりも内容がわかりやすい。難しい言葉は使わない上に、名古屋弁です。それに人柄の暖かさ

が伝わってきます。私は迷わず松永ゼミを選びました。あれから幾十年、先生には本当にお世話になってきました。先生にお世話になった人達もたくさん見てきました。先生の周りには、異分野の人達でひしめいていました。そのことは、先生が頭脳流出と言われた退官記念パーティーでも如実でした。各界から大勢のそして様々な人達のご参加があり、盛大なパーティーでした。先生が口を開けば、誰もが耳を傾けます。豪放に見えても感性は鋭く、僅かな言葉の端、服装からでも全てを悟ってくれる先生でした。「どうだ元気にやるとるか？ だいぶ順調にいつとるみたいだな」。また聞かせて頂きたいお言葉でした。先生が渡米中（私が在学中のゼミ生だった頃です）使っていたサムソナイトのアタッシュケースは私の一生の形見です。



我が恩師松永先生、どうぞ安らかにやすみ下さい。心からご冥福をお祈りいたします。

就職のための学生とOB・OG交流会開催

毎年恒例になりました「OB・OGとの交流会」(経済学部ゼミ協主催)が昨年も11月8日(金)に開催されました。この企画は、就職活動を間近に控えた3年生の皆さんに、社会で活躍する先輩方と懇談する機会を提供し、就職活動の応援ができればという企画です。当日は午後1時に大学事務主催のガイダンスが行われ、引続き夕方より学生会館和室での交流会開催でした。ゆるやかな景気回復とはいえ、まだまだ就職環境は快晴とは言えず、真剣な学生諸君が多数

参加されました。業務多忙の折にも関わらず、先輩方にも多数お集まりいただき、学生諸君よりの熱のこもった質問に、的確なアドバイスで応えていました。就職協定廃止で先の読みにくい戦線ですが、この経験をいかしての頑張り期待したいと思います。次回開催の折にも、多方面にわたる業種、職種の皆さんのご参加をいただければと思います。

(20期生 中村英利)

支部結成と表彰制度について

●瑞山会の支部を作りますか？

現在、瑞名会(名古屋市役所支部)始めいくつかの支部が作られ、それぞれ活動されていますが、身近な会員相互の交流と親睦を深めるため、大いにその設立の輪が広がることを望んでいます。設立条件は、①15%以上の会員を基準に地域別又は職域別(同一企業・同業グループ等)に設立可能②支部の会員名簿及び活動報告を理事会に届け出ること③年1回以上活動計画を会報に投稿すること等で、支部への助成は会員1人につき500円を基準に総額5万円を限度に毎年支給されます。積極的な支部作りをお願いします。

(瑞山会会長 前田勝昭)

●表彰制度発足のお知らせ

平成8年10月25日開催の瑞山会通常総会で、新たに会員表彰制度が設けられることとなりました。目的は、あらゆる意味で社会に貢献している会員相互の関心を高め、いっそうの努力と連帯を促す一助とするためです。対象は、①瑞山会の活動に顕著な功績があった人、②広く社会に貢献し、瑞山会及び名古屋市大の名譽を高めた人のいずれかを満たし、選考委員会で決定することとなっています。被表彰者には、表彰状及び記念品が贈呈されます。会員の皆様からの推薦をお待ちしています。

(連絡先 6期生 八木得三 052-704-5061)

事業部だより

昨年9月8日に内海フォレストパークにて、バーベキューが行われました。内海と犬山モンキーパークと毎年交互に行うという当初プランでしたが、犬山の施設は雨に弱いので、当分内海フォレストパークで続けます。今年は9月7日ですので、ぜひご参加ください。10月19日には南山CCにて第28回名市大OBゴルフコンペが開催され、優勝伊藤政明氏(5期生)、準優勝澤田康夫氏(5期生)でした。恒例の11月3日大学祭模擬店OBコーナーは、大学側のスケジュール変更のため10月27日に開催いたしました。間違ってお来場頂いた方には、お詫び申し上げます。



本年も開催日にはご注意ください。冬場のスキーツアーは結局断念してしまいました。助っ人の登場に期待します。本年4月6日には予定どおり、山崎川散策と茶会が催されました。例年より早い桜の開花のため、真っ盛りの桜を堪能することができました。5月3日には第8回硬式テニスの会が開催され、杉浦晴義氏(6期生)と子息のチームが優勝し、準優勝はその杉浦氏夫人と加藤実氏(5期生)でした。5月17日には第29回名市大OBゴルフコンペが開催され、優勝逸見和弘氏(1期生)、準優勝藤原悟氏(1期生)でした。

(連絡先 逸見和弘 ☎052-914-6221)

〈バーベキューの集い〉ご案内

15人 エキストラ
15人 牛肉
田村

瑞山会主催、恒例のバーベキューパーティーを開催いたします。参加をご希望の方は、8月25日までに、お電話で右記連絡先へご予約をお願いいたします。
日時：平成9年9月7日(日) 12時集合(雨天決行)
場所：内海フォレストパーク・デーキャンプ場
TEL (0569) 62-1685

- 交通：名鉄内海駅からバスで10分
- 参加費：入場料のみ 大人1000円、小学生500円、幼児400円
- 連絡先：(052) 872-5710 名市大経済学部資料室 倉地まで
- ご家族連れで、ぜひご参加ください。

LETTERS

会員の皆さんからのお便りを募集しています。

近況や、ゼミナール、支部OB会などの活動報告、会報記事、瑞山会へのご意見などお寄せください。採用分には、後日お礼をいたします。投稿形式は自由です（写真の掲載もできます）。

おたよりコーナー

会員名簿第6号発行準備中

会報26号でお伝えしましたが、新会員名簿が平成9年末発行予定です。これまで名簿部では会員の皆様に、住所などを含む調査の葉書を数回お送りしております。新年度を迎え、さらに会員名簿内容の正確さを期するため、まもなく再度の調査をいたしますのでご協力をお願いします。会員総数6500名を超え消息の分からない方も多数に上ります。会員支部、ゼミ

- OB会などで情報がございましたら名簿部までお知らせください。今回より名簿は一部4000円（送料、税込み）の有料頒布になりましたが、印刷を鮮明にして見やすいスタイルに改訂いたします。お申し込みの詳細は別送の調査票をご覧ください。
- ※一部業者より同種の名簿発行案内がありますが、瑞山会とは一切関係はありません。

〈名簿字体例〉 名市 一夫 467 名古屋市瑞穂区瑞穂町山の畑1 ☎052-931-6916 愛知県庁 田中ゼミ

桜山会「第5期・卒業同期会」開催案内

昭和43年入学または47年卒業の同期会を下記の予定で開催いたします。予定人員は、20~25名程度で家族同伴も歓迎します。大自然の中でゆったりとくつろぎましょう。

- 日時 平成9年10月11日（土）1泊
午後4時~5時現地集合、翌日現地解散

- 場所 名古屋市立大学野外教育施設「藜名荘」（りょうめいそう）
長野県茅野市豊平字東嶽10412-44
- 会費 約1万円
- 連絡先 八木 得三
[TEL 052-704-5061・FAX 052-704-5082]
- ※8月1日に正式申込をしますので、7月20日頃までにご連絡ください。

年間スケジュール

- 4月
第1日曜日 山崎川花見と茶会
下旬土曜日または日曜日 OBゴルフコンペ
- 5月
3日祝日 テニス大会（硬式）
- 9月
9/7（日）野外バーベキューの集い

- 10月
10月中・下旬 OBゴルフコンペ（予定）
10月下旬 大学祭模擬店OBコーナー（予定）
- 1月または2月
スキーツアー
- 秋（9~11月）通常総会（兼代議員会）
- 年3~4回 理事会
- 年2回（春・秋）瑞山会報発行